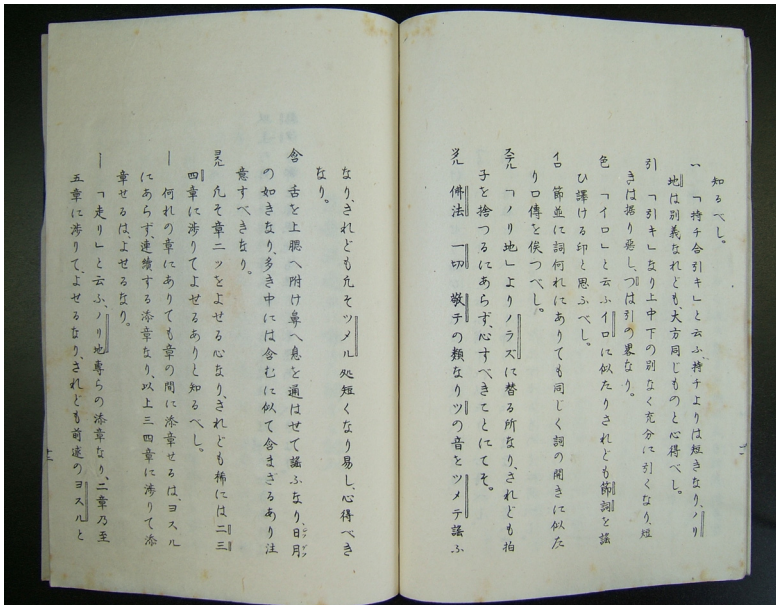


二十四世 観世元滋 『大正改版節付凡例 観世流謡曲正本精解』

観世宗家の監修によって、新しく改訂された謡本の、附録の一冊である。「正本」と名付けられているのは、観世流改訂本の出版を意識した名付けである。拍子についてはほとんど説明がなく、『観世流謡曲節附解説』（50頁）と対照的である。写真下は、節の説明箇所の下である。最初に、節の下につけられている「引き」の記号の説明があるが、それが「持ち合引き」という、現在はいない用語で呼ばれている。現代式の平ノリが、基本ではなく、「持ち合」という応用技巧の結果であるという意識が、ここにまだ生きている。



標題 内題…

標題紙…

奥附…

その他…大正改版節付凡例 観世流謡曲

正本精解(題簽)

著者 奥附…二十四世 観世元滋

その他の場所…

出版 版次…第五版

出版地…東京・京都

出版社…檜大瓜堂

出版年…大正13(1924)

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…二〇丁

寸法…23×17(cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考